

各 位

会 社 名 富士物流株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小林 道男
 (コード番号 9061 東証第 2 部)
 問合せ先 経営企画部長 樋口 祐二郎
 (TEL. 03-5476-8672)

通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 29 日に公表した平成 21 年 3 月期の通期業績予想および平成 20 年 4 月 25 日に公表した平成 21 年 3 月期の配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(1) 修正の内容

(連結)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,500	1,050	1,000	490	20.09
今回発表予想 (B)	39,000	550	500	100	4.10
増減額 (B-A)	△3,500	△500	△500	△390	—
増減率 (%)	△8.2	△47.6	△50.0	△79.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	41,871	1,261	1,212	481	19.72

(単体)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	37,000	900	900	490	20.09
今回発表予想 (B)	34,500	500	500	180	7.38
増減額 (B-A)	△2,500	△400	△400	△310	—
増減率 (%)	△6.8	△44.4	△44.4	△63.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	36,051	1,089	1,097	431	17.67

※ 1 株当たり当期純利益の算出にあたり、予想値については 2009 年 12 月 31 日現在の期末発行済株式数 (自己株式数を除く) を使用しております。



(2) 連結業績の修正の理由

第3四半期以降の世界的規模での景気後退や急速な円高の進行など、当社グループを取り巻く経営環境は極めて厳しい状況で推移しております。

このような中、当社グループの主要顧客である、電機メーカー、情報機器メーカー、工業用ミシンメーカー、エレベーターメーカーなど各社の荷動きが急速かつ大幅に低下いたしました。

このため、営業収益、営業利益、経常利益とも前回発表予想を下回る見込みであります。また、営業利益の減益に加え、主要な子会社において通期で赤字となる見通しとなり、繰延税金資産の取崩しも発生するため、当期純利益についても大幅な減益となる見込みです。

(3) 単体業績の修正理由

単体業績予想の修正理由についても、概ね連結業績の修正理由と同様であります。なお、単体業績においては、繰延税金資産の取崩しは発生しない見込みです。

(4) 今後の見通し

当社グループにおいては、この厳しい経営環境に対処し、早期の業績回復のため、以下を中心とした施策を進めております。

- ① 役員報酬の削減、管理職以上の賞与の削減
- ② 経費全般の削減
- ③ 輸配送体制の見直し
- ④ 荷役料削減のための作業改善推進の加速

2. 平成21年3月期 配当予想の修正

(1) 修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (平成20年4月25日)	円 銭 4.00	円 銭 5.00	円 銭 9.00
今回修正予想	—	3.00	7.00
当期実績	4.00	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	4.00	5.00	9.00

(2) 修正の理由

当社は、かねてより「株主重視」の姿勢のもと、長期的な視野に立ち、安定的配当の継続と企業発展のために必要な投資のための内部留保の充実を基本方針としてまいりましたが、平成21年3月期の期末配当につきましては、当期業績の状況に鑑み、誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を前期比2円減配の3円(年間配当金 7円)に修正させていただきます。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上



Pack'n Solution

「フジパクン」は、富士物流のキャラクターです